≪ 検診共通の注意事項 ≫

- ◆ 検診当日に、鶴ヶ島市に住民登録があり、勤務先等で受診する機会のない方が対象です。
- ◆ 自覚症状のある方、治療中及び経過観察中の方は、医療機関を受診してください。
- ◆ 検診当日、体調不良の場合は、受診をご遠慮ください。
- ◆ **妊娠中またはその可能性のある方はX線（レントゲン）による検査、胃内視鏡検査は受診できません。**
- ◆ インスリンポンプ及び持続血糖モニターを装着中の方で、取り外しができない場合は、集団検診におけるX線検査（胸部、胃部、マンモグラフィ）の受診はできません。
- ◆ 受診に関して特別な配慮が必要な方（車椅子等）は、事前にご連絡ください。
- ◆ 重複受診された場合は、2 回目以降の検診費用が全額自己負担となります。
- ◆ マスクの着用のご協力をお願いします。

医療機関で受ける検診

胃がん検診（カメラ）　胃内視鏡検査

注意事項

◇当日はお薬手帳を持参してください。抗血栓薬服用中の方は、医師の判断により検査できない場合があります。
◇実施医療機関に予約の上、検診前の注意事項などは病院の指示に従い受診してください。
◇問診、検査、結果説明と、少なくとも 2 ～ 3 回は医療機関に行く必要があります。
◇胃内視鏡検査の方法（経口・経鼻）については、予約時に医療機関にご確認ください。
◇胃内視鏡検査中に、異常がある場合には病変の一部を採取し（生検）、細胞の検査を行うことがあります。保険診療として医療機関から別途請求がありますので、当日はマイナ保険証または資格確認書を持参してください。
◇万が一途中で検査を中止した場合でも、自己負担金は 600 円をお支払いいただきます（個人負担金免除の方は無料）。
◇次に該当する方は受けられません。
- ● 胃内視鏡検査に関するインフォームド・コンセントや同意書の取得ができない方
- ● 疾患の種類にかかわらず入院中の方
- ● 消化性潰瘍などの胃疾患で受療中（ピロリ菌除菌中も含む）の方
- ● 胃を全摘出されている方
- ● 咽頭・鼻腔などに重篤な疾患があり、内視鏡の挿入ができない方
- ● 呼吸不全のある方
- ● 急性心筋梗塞や重篤な不整脈などの心疾患のある方
- ● 明らかな出血傾向またはその疑いのある方
- ● 全身状態が悪く、胃内視鏡検査に耐えられないと判断される方
- ● 収縮期血圧が極めて高い方

乳がん検診　乳房X線検査（マンモグラフィ）　令和 7 年度から国の指針に沿ってマンモグラフィ検査のみ実施しています。

注意事項

保健センターで受ける検診 にある乳がん検診をご確認ください。

子宮頸がん検診　視診、内診、細胞診（必要に応じてコルポスコープ検査）

注意事項

◇検診に最も良い期間は、排卵日の 3 ～ 4 日後から月経前です。
◇検診の 4 ～ 5 日前から性交と膣洗浄は避けてください。
◇出血することがありますので生理用品をお持ちください。
◇妊娠中、月経中の方は受診できない場合もありますので医師にご相談ください。
◇次に該当する方は受診できません。
- ● 子宮全摘出手術を受けた方

大腸がん検診　便潜血検査二日法

注意事項

◇採便容器は事前に医療機関に取りに行く必要があります。
◇1 月 31 日までに検体（採便）を医療機関に提出してください。

肝炎ウイルス検診　血液検査　B 型及び C 型肝炎ウイルス検査（HBs 抗原検査、HCV 抗体検査）

保健センターで受ける検診

肺がん・結核検診　胸部X線検査

注意事項

◇無地の薄いTシャツ（襟、ボタン、刺繍、プリント、金具のないもの）を着用してください。
◇磁気、湿布、カイロ等ははがしてください。
◇肺の手術をした方、ペースメーカーやシリコン等の入っている方は医療機関での受診をお勧めします。
※令和 8 年度から国の指針改正に伴い、喀痰細胞診は検診の対象外となりました。

胃がん検診（バリウム）　胃部X線検査

注意事項

検査前日
◇前日の夜 10 時以降は禁食となります。前日は、就寝前まで水分摂取は可（飲酒は不可）。
◇当日の飲水は、検診の 2 時間前までであれば、200ml（コップ 1 杯程度）の水または白湯はかまいません。

検査当日
◇無地のTシャツ（襟、ボタン、刺繍、プリント、金具のないもの）を着用してください。
◇検査当日のタバコは、避けてください（ニコチンにより胃液が大量に出るため）。
◇高血圧、心臓病のある方は、検査開始の 2 時間前までに、200ml 程度の水または白湯で内服します。糖尿病の方は低血糖にある恐れがあるため、検査当日の朝、内服薬およびインスリンを使用しないでください。内服薬に関しては、主治医に確認の上、指示を受けてください。
◇検診で使用するバリウム等は人体にはほとんど影響はありませんが、まれに腹部症状（痛み、便秘、腹部膨満感など）が現れることがあります。
◇開腹手術（食道、胃、腸、胆のう）を受けたことのある方、便秘気味でお腹がはる方、腸管憩室のある方、握力に自信のない方は医療機関での受診をお勧めします。
◇次に該当する方は、受診できません。
- ● バリウムを飲んだ際に、発疹・気分不快等のアレルギー症状が出たことがある方
- ● 当日食事・水分摂取をした方
- ● 食道、胃、小腸、大腸等の疾患で治療中、経過観察中の方
- ● 胃を全摘出されている方
- ● 飲み物でむせやすい方・過去にバリウムを誤嚥したことのある方
- ● 自力で立っていられない、または撮影台の手すりをつかむことが困難な方、技師の指示に従って動くことができない方
- ● 6 か月以内にポリープ除去を受けたことがある方
- ● 1 年以内に消化器手術・呼吸器手術・心疾患手術・整形外科手術を受けた方
- ● 1 年以内に心臓の発作や脳梗塞等の脳血管疾患を発症された方
- ● 透析中・心臓病・腎臓疾患があり、水分制限のある方
- ● 腸捻転、腸閉塞の既往のある方
- ● 当日まで 3 日間排便のない方
- ● 安全上検査が困難と判断した場合や、当日の体調などにより検査に支障や危険を伴うと判断された方

乳がん検診　乳房X線検査（マンモグラフィ）　令和 7 年度から国の指針に沿ってマンモグラフィ検査のみ実施しています。

注意事項

◇服装は簡単に着脱できるものにしてください。
◇次に該当する方は受診できません。
- ● 授乳中の方、断乳後 6 か月未満の方
- ● 豊胸術をされた方、乳房手術後 1 年以内の方
- ● ペースメーカーを使用、ポート埋め込み、ＶＰシャントなど医療機器が入っている方
- ● 心臓・肺等の手術創や上半身の骨折が完治していない方
- ● 自力で 10 分程度立位が保持できない方

骨粗しょう症検診　X線による前腕骨の骨密度測定

歯周病検診　むし歯・歯周病の検診、唾液の pH 検査、歯みがき指導